附　　帯　　意　　見

報告第１号（北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算）

１．道財政は、実質公債費比率が前年度に比べ1.1ポイント上昇し21.7％となるなど、一層厳しい状況が続いている。

　道税や貸付金、使用料、手数料の未納額が約328億円、不納欠損額が約19億円に上っていることから、収納対策に全庁挙げて全力で取り組むべきである。

１．道財政が厳しい状況にある中、国庫補助事業事務費に係る不適切な会計処理があり返還することとなったことは極めて遺憾であり、二度と繰り返すことのないよう、具体的な改善策を早急に取りまとめ、厳正な事業執行に努めるべきである。

１．道民の医療を守るため引き続き医師確保に努めるとともに、札幌医科大学においては学生定員の増及びそれを可能とする施設設備の充実を図るべきである。